

RPAとAIエージェント 仕分けシート

会社の作業を、RPA（決まった手順）とAIエージェント（読む・判断する）に仕分けるシート。スマホでもパソコンでも、そのまま書き込みます。

① RPAとAIエージェントの違いをつかんだか

RPAは「手順書どおりに動く、まじめな作業係」。AIエージェントは「目的から考える作業係」。

【ストラテジストの視点：道具は得意なことを選びます。RPAは決められた手順を速く正確にくり返すのが得意。AIエージェントは文章・写真・手書きメモを読んで判断するのが得意で、形が少し変わっても止まりにくいのが強みです。

- ☐ RPAは、決められた手順を正確にくり返す。画面や書類の形が変わると止まる
- ☐ AIエージェントは、目的に向かってやり方を考える。変化に強い
- ☐ AIエージェントは、文章・写真・手書きメモのような形の決まっていないものも読める

② 会社の作業を2つに仕分けたか

毎回まったく同じ手順の作業と、読んで判断する作業を、3つずつ書き出してみましょう。

【ストラテジストの視点：決め方はかんたん。手順と形がいつも同じならRPA（速い・安い・ぶれない）。読む・判断する・まとめるが入るならAIエージェント。迷ったら「毎回同じか？」を自分に聞きます。

 毎回同じ手順の作業（RPA向き）

例：同じ形の日報を集計表に転記、会計ソフトへの入力

 読んで判断する作業（AIエージェント向き）

例：いろいろな形の請求書を読む、現場メモの要点まとめ

- ☐ いちばん強いのは組み合わせ（AIが読んで整え、RPAが正確に流す）と知っている

③ AIエージェントに渡す教科書を用意したか

手順書は捨てるものではなく、AIエージェントに渡す教科書です。

【ストラテジストの視点：AIエージェントは新しく入った優秀な部下。会社のルールまでは教えないとわかりません。目的・ルール・人が確かめる場所の3つを渡し、お金や取引先に関わる場所は必ず人の「はい」をはさみます。

- ☐ 仕事の目的を書いて渡す
- ☐ 守ってほしい会社のルールを書いて渡す
- ☐ 最後に人が確かめる場所を決めた（お金・取引先は必ず人の「はい」）

最後に確かめる人

例：事務の〇〇さん



スマホで開く・最新版はこちら
goen-growth.com/ai-kouza/sheet-06/

※書いた内容は、お使いの端末の中だけに保存されます（御縁には送られません）。社内で自由にお使いください（社外への再配布はご遠慮ください）。制度・法律の最終判断は、公的機関や専門家にご確認ください。内容は2026年10月時点のものです。

会社のAI導入講座／支援事業 御縁 (goen-growth.com)